

実践 DS 育成プログラム Practicum (セイノー情報サービスさん) 教員向け事前 報告会

日時：2021 年 1 月 18 日(月) 17:30 - 18:30

参加者

グループ 1：後藤さん、LI さん、前田さん、小山田さん

グループ 2：新藤さん、林さん、今村さん、森下さん、中村さん

教員：中岩先生、井手先生、武田先生、鈴木先生、志賀先生、駒水先生、松原先生

QTA：朝日、栗林さん

MDS センター：犬飼さん、長野さん、住田さん

欠席者

グループ 1：都さん

グループ 2：石塚さん

1. 発表内容・質疑応答（グループ 2）

- 2 種類の探索法について本タスクで利用する上でのそれぞれのメリット・デメリットを説明できるか？（駒水先生）
 - 両方が一般的な手法であることは理解している。
- 2 種類の探索法について、どちらが良いかは分かっているか？（駒水先生）
 - やって見ないと分からないところがある
 - 実行時間と精度とのトレードオフが分かっている（駒水先生）
 - ⇒ 知見をスライドに載せるべき
- 距離と道のりの違いは？（駒水先生）
 - 「距離」=直線距離、「道のり」=Google Map 上の道順
- 異なる ε 間での比較は可能か？（駒水先生）
 - 全て同じ道順であるため比較は可能。
- 今回の分析を行う上でのアピールポイント・強みは？（鈴木先生）
 - セイノーさんのほうで実施済みの最適化手法とは違う観点である強化学習を用いている点
 - Google Map の情報を用いて道路情報・交通情報がある程度考慮している点（セイノーさんの要望）
 - ⇒ 資料に「強み」を載せるとよいだろう
 - ⇒ 可視化した点も「強み」であるので、考慮に入れるべき
- 出発時間を 8 時に設定しているが、その入力基準は？（中岩先生）
 - Map などの制約条件のため、8 時に固定している。
 - ⇒ 出発時間にも何らかの工夫ができると望ましい

- 駒水先生コメント
 - p.11 エピソードについての説明（今回のタスクで何に相当するか）をスライド内に記述したほうが良い.
 - p.14 ε 間で比較するなら、同グラフ中に異なる ε での結果をプロットしたほうが良い. 例えば、所要時間、距離、道のりのそれぞれでグラフを作り、異なる ε のプロットをする.
 - p.14 「良い結果となった」はどういう観点でそうなのか？をスライドに書く
 - p.15 この分析の狙いは何なのか？エリアに傾向があるとどう嬉しいのか？をスライドに書く

2. 発表内容・質疑応答（グループ1）

- 最大距離が段階的に上がっていく理由もしくは仮説は？（駒水先生）
 - 配達先をクラスタリングするにあたり、削減人数を増やすことにより、大阪や東京などの遠距離への配達情報が占める割合が大きくなることが考えられる
- 論文の解決法どうしてこれを使おうと思ったのかを説明してほしい（駒水先生）
 - 画像情報に落とし込むことで、2点間の最適距離を巡回セールスマン問題により求められるようになるため
 - ⇒ 端的に資料に記述すべき
- 遺伝的アルゴリズムにおける、配達予定時刻の制約に関する評価（制約がどのくらい守られているか）の考察はされているか？（志賀先生）
 - 現状できていない
 - ⇒ 配達予想時間がどれだけ守られているのかを数値化して示すと良い（中岩先生）
- 駒水先生コメント
 - p.10 数値が小さい→すべて載せる必要がある？注目してほしい数値だけでも良いのでは？（他ページのグラフについても要検討）
 - p.11 なんで段階的に上がるのか？仮説はあるのか？
 - p.15 グレーが凡例にない？
 - p.22 入力画像はどのように作るのか？スライドに書いたほうが良い（口頭では言っていた）「過去実績から」作っているのか？

3. 連絡事項

- 最終報告会は2月1日(月) 17:30~19:00
 - 各グループ、発表時間 20 分・質疑応答 20 分
- 最終課題提出期限は2月11日(木) 12:00
 - 「プロジェクト報告書」「プラクティカムにおける自身の経験と役割に関するレポート」「相互間評価」の3種類